

オープンハウスが神奈川県警察本部と協力し、 「留守番中の子供の防犯」「コロナ特殊詐欺防犯」を目的とした防犯啓発活動を実施

～5月28日（木）よりテレビ神奈川にてTVCMを放送開始～

「好立地、ぞくぞく。」をスローガンに掲げ、東京、名古屋、福岡を中心に不動産業を展開する株式会社オープンハウス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：荒井正昭、以下当社）は、神奈川県警察本部と協力し、「留守番中の子供の防犯」「コロナ特殊詐欺防犯」の注意喚起を目的としたTVCMを作成し、5月28日（木）よりテレビ神奈川にて放送いたします。



当社は、2019年末より神奈川県警察本部が実施している「詐欺撲滅キャンペーン」をサポートしています。現在、神奈川県警察と協力し、「特殊詐欺被害防止ステッカー」及び「コロナに伴う詐欺被害防止ステッカー」の作成を行い、神奈川県内にある当社の新築現場や営業拠点等に貼付する活動を行っております。ステッカーには、県警が推進している「電話でキャッシュカードと言われたらサギ！！」や「コロナによる詐欺」などのキャッチコピーを入れており、当社現場近くの通行人等への注意喚起を実施しております。

今回、「留守番中の子供の防犯」、「コロナ特殊詐欺防犯」の注意喚起を目的に、当社にて2本のCM動画を作成し、5月28日（木）よりテレビ神奈川にて放送いたします。さらに、TVCMに加えて、神奈川県警察のSNSや、オープンハウスSNSなどでも同映像を発信いたします。

■本企画の背景

緊急事態宣言を受けて、神奈川県を含む全国の小学校が休校になるなど、新型コロナウイルス感染症の流行により、子供が自宅で過ごす時間が増えています。神奈川県では、緊急事態宣言が解除された現在も、分散登校や短時間授業などの対応が取られております。テレワーク化が進み、自宅で仕事を行う人が増えているものの、どうしても子どもが1人で留守番しなくてはならない状況は多く、空き巣や泥棒などと鉢合わせになる危険な状況も散見されています。また、新型コロナウイルス特別定額給付金の支給に伴い、給付金を狙った詐欺なども横行しています。

当社は、戸建てを主とした住宅供給を生業としており、企業として、営業活動エリアの安全や「家とそこに住む家族を守る」という根本的な理念に正面から向き合い、今起きている社会課題に向けた啓発を行っていくべきであると考え、本企画の実施に至りました。

当社は、引き続き神奈川県警察本部と協力し、詐欺撲滅に向けて取り組んでまいります。

